

観光地域づくり法人(DMO)事業報告書

1. 具体的な取組状況

(1)DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成について

【関連する点検項目】

〔1〕Ⅰ. 合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称(例:理事会、協議会 等)	富士川町観光まちづくり会議
上記合意形成の仕組みの概略 (例:DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担 等)	(株)ふじかわまちづくり公社が母体となり、メンバーには、行政、商工会、観光物産協会、文化協会、道の駅富士川、宿泊事業者、活性化組合、飲食事業者、農業事業者、林業事業者、交通事業者、旅行事業者、金融機関の多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施
直近1年間における開催実績と参加人数 ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記載すること。	令和6年6月18日(火)開催 参加者:委員11人、事務局5人 令和7年6月19日(木)開催 参加者:委員13人、事務局4人
上記合意形成の仕組みとなる会議体以外の設置状況・開催実績について、ご記入ください。(例:分科会、ワーキンググループ、実務担当者会議 等) 特になし	

【関連する点検項目】

〔1〕Ⅱ. 地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政 が全て参画している

上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①～④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付すること。 ※関係者がいない場合には、その理由を明記すること。	
①地域が売りとする観光資源の関係者 (文化財、国立公園、農泊、アクティビティ、農林水産業、商工業 等)	富士川町商工会、富士川町観光物産協会、日出づる里活性化組合、平林活性化組合、富士川町文化協会、山梨みらい、鷹座果林業、YBS T&L、山梨中央銀行
②宿泊事業者(旅館、ホテル 等)	いち柳ホテル
③交通事業者 (鉄道、バス、タクシー 等)	山梨交通株式会社
④行政	富士川町

富士川町では、人口減少が進んでおり、就業者数の最も多い製造業においても高齢化等の影響で1999年と2019年を比較すると、従業者数で△629人、製造品出荷額で△20,005百万円となり、いずれも減少傾向にある。また観光面では、町内の宿泊施設が不足しており、延べ宿泊者数が2019年の1,795人をピークに減少傾向にある。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人(DMO)を中心として空き家等を活用した宿泊先の確保や既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、ふるさと納税に特化した商品の開発等によって、新たな雇用の創出や交流人口の増加に繋げることとする。こうした地域の背景の中、ターゲット層を定め、地域の強みと弱みをSWOT分析して、その層への取組方針を定め、富士川町観光まちづくり会議で多様な関係者による同意形成を行い、戦略を策定した。

【関連する点検項目】

〔2〕Ⅴ. 戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している
〔2〕Ⅵ. PDCAの実施に際して、上記〔2〕Ⅴの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている

戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した実績についてご記入ください。

※PDCAの実施については、評価・分析に基づいて、必要に応じて計画の見直しを行った場合は、その具体例も記入すること。

※実際に共有を行った資料を添付すること。

R7.6.19に富士川町観光まちづくり会議を開催し、戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した。

持続可能な観光に関する国際的な認証・表彰の取得状況について

	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)ロゴマーク【選択】	グリーン・ディスティネーションズによる認証・表彰【選択】 ※複数で表彰された場合は最上位の表彰を選択	ベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認証【選択】	その他、持続可能な観光に関する認証制度等(自由記述)
取得状況	取得していない	いずれも受けていない	認証を受けていない	

持続可能な観光の取組の実績について、ご記入ください。(例：観光客のマナー違反対策、事前予約制や混雑状況の可視化、ゴミの削減や環境に配慮したコンテンツ開発、観光客増加による影響に関する住民向け説明会 等)

各種イベントでのリサイクル容器の使用、まちいくふじかわと共同で大法師公園桜オーナーをクラウドファンディングで募集し、桜の苗木の植樹を行った。

デジタル化やDXを推進するための取組の実績について、ご記入ください。

(例：CRM、DMPの導入、地域内の宿泊施設へのPMS導入支援、MaaSによる二次交通の利便性向上 等)

アンケート調査をGooleフォームを使ったデジタル化、花火イベントでのふるさと納税電子チケットの導入準備、町HPで観光スポットを多言語化で見れるパノラマVRやフォトムービーの導入

(3)関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

【関連する点検項目】

〔3〕Ⅰ. 地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している(広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組の実績について、ご記入ください。

(例：住民対象のアンケート調査、住民参加型の着地型ツアー、観光教育プログラム 等)

穂積地区の日出づる里活性化組合の組合員となり、今後商品開発などを進める。地域産品をイベントなどで販売。山車巡行祭りを着地型ツアーとし造成

【関連する点検項目】

〔3〕Ⅱ. 上記〔3〕Ⅰとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している

DMOの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況やDMOの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により地域住民も含めた関係者に対して説明・共有を行った実績について、ご記入ください。

(例：地域住民向け説明会、DMOの取組を紹介する広報誌・アニュアルレポートの作成 等)

※実際に説明・共有を行った資料も添付すること。

R5年度のKPIの達成状況等は、令和6年7月31日公表。公社HPにR6年度のKPIの達成状況等を公表する。

【関連する点検項目】

〔3〕Ⅲ. 戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている

戦略の共有に照らし合わせて、地域の多様な関係者が参画する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績や具体例について、ご記入ください。

R5.6.26 富士川町観光まちづくり会議
R6.6.18 富士川町観光まちづくり会議
R7.6.19 富士川町観光まちづくり会議

【関連する点検項目】

〔3〕Ⅳ. 戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている

観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組の実績について、ご記入ください。
(例: 着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記 等)

観光パンフレットの多言語化、町HPで観光スポットを多言語化で見れるパノラマVRやフォトムービーの導入、やまなし観光推進機構の専門家派遣事業を活用して、体験型コンテンツ造成(山車巡行祭り引手募集、大法師公園桜植樹体験)

観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組の実績について、ご記入ください。
(例: 品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング 等)

人材育成勉強会(観光まちづくり勉強会)の後援及び勉強会で公社について発表

【関連する点検項目】

〔3〕Ⅴ. 情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている

情報発信・プロモーションに係る取組の実績について、ご記入ください。
(例: ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス 等)

SNS X及びFacebookの開設。町内観光地をプロモーションするためのドローンによる動画撮影、トップセールス、海外向けにCool Japan Videosのアカウントを取得し5か国語(日本語、英語、韓国語、中国語、台湾語)対応を実施。

一元的かつ効率的に情報発信・プロモーションを実行するための、DMOと地域の多様な関係者(自治体・民間事業者等)との役割分担について、ご記入ください。

富士川町商工会(商品造成・空き店舗対策)
富士川町観光物産協会(各種イベント・観光物産PR・ふるさと名物の開発)
道の駅富士川(地域産品販売・各種イベント・情報発信)
日出づる里活性化組合(地域産品販売・ふるさと名産品の開発)
平林活性化組合(地域産品販売・ふるさと名産品の開発)
みさき耕舎(各種イベント・体験農園・農業体験)
ふるさと自然塾(宿泊・自然体験)
平林たはたの宿(宿泊・農林業体験)
歴史文化館塩の華(歴史文化学習・郷土学習)
はくばく文化ホール(舞台芸術・文化体験)
民族資料館(文化財等の展示・案内ガイド)
山梨交通(二次交通)
富士川CATV(イベント情報発信)

DMOが運営・管理を行っている地域サイトについて(ない場合は「なし」と記入)

ふじかわまちづくり公社HP(<https://fujikawa-machi.co.jp>)

上記地域サイトが以下に該当する場合はチェックをつけてください。

(a)地域全体を包括している※1	☒	(b)宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している※2	☐	(c)宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態になっている	☐
(d)宿泊及び体験・アクティビティについて、他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※3	☐	(e)ターゲットに即した言語※4で(a)、(b)、を満している	☐	(f)ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内或いは他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※5	☐

※1 地域サイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。
 ※2 地域サイトにおいて、※1の主要な各エリアにおける各情報(①宿泊、②体験・アクティビティ、③飲食)をそれぞれ1つ以上掲載している状態を指す。
 ※3 OTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。
 ※4 ターゲットに即した言語で自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態、又は、その国の旅行者が主に使用しているOTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

(4) 安定的な運営資金の確保

【関連する点検項目】

〔5〕Ⅰ. 安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・入湯税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある

自主財源(特定財源、自治体からの受託事業(指定管理者制度、ふるさと納税等)、収益事業(旅行商品の造成・販売等)、会費等)の更なる確保に向けた今後の見通しについて、ご記入ください。

- ・自治体からの受託事業(ふるさと納税中間事業者として委託)
- ・収益事業(商品の販売(Tシャツの販売、事業者としてふるさと納税返礼品の販売(貫通石等)、ふるさと納税体験型コンテンツの販売、各種イベントでの物販)
- ・企業版ふるさと納税紹介業務

【関連する点検項目】

〔5〕Ⅱ. 運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている

運営資金のうち行政からの支出による財源が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に検討を行ってきた実績や協議内容についてご記入ください。

※自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定していれば、その内容についても触れること。

自主事業の確保に向けて、町と協議を行った結果、ふるさと納税体験型コンテンツ造成に向け、やまなし観光推進機構の専門家派遣事業を活用して専門家を招き、35個の体験型コンテンツを造成した。今後は、そのコンテンツの磨き上げを行い、販売を始めていく。また、R5年度には、町と協議して、リニア中央新幹線のトンネル工事を活用し、公社が事業者となりふるさと納税返礼品として貫通石の販売を行った。R6年度には、ふるさと納税体験型コンテンツとして、町のイベントの山車巡行祭り引手体験、大法師公園桜植樹体験などの造成を行った。また町のゆるキャラであるゆずにゃんを活用した商品開発の実施

(5) その他特記事項

※上記以外の項目で、特徴的と思われる取組内容がありましたらご記入ください。

2. 次年度(次期)の事業計画の概要

- R7 体験型コンテンツ造成のため、観光庁地域観光魅力向上事業に応募。インバウンド向け情報発信サイトの運用(Cool Japan Videos) 富士川町場外離発着場の運営管理業務、体験型コンテンツ造成事業、大学生と協同で体験型コンテンツ造成やふるさと納税返礼品の開発及び市場調査、ホリプロを活用したタウンプロモーション、ゆるキャラグッズの製作販売
- R8 観光庁地域観光魅力向上事業(仮称)

※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みについて

外部組織等による検証の有無	有	検証時期(有の場合)	令和7年6月19日
検証方法(有の場合)	・DMOの外部に設置された富士川観光まちづくり会議において、事業の進捗状況やKPIの達成状況、予算等について検証し、次年度の事業内容や予算の検討に反映させることとしている。		
外部組織等の参画者(有の場合)	富士川町商工会、富士川町、富士川町観光物産協会、日出づる里活性化組合、平林活性化組合、富士川町文化協会		
検証結果の公表の有無(有の場合)	有	公表方法(有の場合)	(例)DMOのHP上で公表。